

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2024 年 10 月 12 日作成 第 1.3 版

研究課題名	Mini-direct lateral approach を用いた人工股関節全置換術における術後成績とそれに影響を与える患者因子の検討
研究の対象	2006 年 8 月 1 日から 2024 年 7 月 31 日までに当院で人工股関節全置換術施行した患者さんを対象とします。
研究目的 ・方法	人工股関節全置換術を施行する際のアプローチ法において、当院で多く行われている Mini-direct lateral approach というアプローチ方法の有用性と有用性を過去の診療録からの情報を収集して検討することを目的とした研究です。Mini-direct lateral approach は、股関節の側面から手術を行うアプローチ方法の一つで、最小侵襲手術として筋肉や腱の損傷を抑えたアプローチ方法です。
研究期間	西暦 2020 年 3 月 6 日（機関の長の許可日）～ 西暦 2026 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	以下情報を診療録より収集します。 1) 患者基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴（先天性股関節脱臼の有無、患側下肢手術歴） 2) 臨床学的調査：外転筋力、跛行の有無、HHS スコア、WOMAC スコア、SF-36、跛行の有無 3) 画像評価：単純 X 線写真による人工関節設置角度の評価、人工関節周囲の X 線学的変化の有無、術前術後の脊椎・骨盤アライメント、術前術後の CT 画像による人工関節設置角度の評価および人工関節周囲の筋群の HU 値評価 4) 血液検査：血算（RBC、WBC、Plt、Hb、赤沈）、凝固（PT、APTT、D-dimer）、生化学（TP、Alb、CRP、AST、ALT、CK、Cre、BUN、HbA1c）、骨代謝マーカー（Tracp-5b、BAP、ucOC、P1NP） 5) 治療効果：HHS スコア、WOMAC スコア、SF-36、跛行の有無 6) 有害事象：神経麻痺、深部静脈血栓塞栓症の有無 7) 予後：再置換の有無、脱臼の有無、人工関節のゆるみ
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 整形外科 （研究責任者）稲葉 裕 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-781-7922	